

町 長	副町長	院 長	副院長	事務長	次 長	担 当	合 議
							施設整備室長

別記様式第4号

会議等結果報告書									
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文 書 番 号	上富病院第418号						
		決 裁 期 日	令和5年2月15日						
名 称	令和4年度第2回上富良野町立病院運営審議会								
日 時	令和5年2月14日(火)18:00~19:00								
場 所	役場庁舎2階審議室								
出席者	【委 員】北川委員長、鎌田副委員長、巽委員、大道委員（中田委員） 【事務局】長岡事務長、上嶋次長、長谷川室長、船引主査								
内 容	<p>○町長挨拶（略）</p> <p>○審議会委員長あいさつ（略） 終了後町長退席</p> <p>協議事項</p> <p>1. 令和4年度病院事業会計収支決算見込みについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <p>(1)患者数見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院患者数 6,579人(前年対比+37人)</li> <li>・介護医療院入所者数 10,060人(前年対比+425人)</li> <li>・外来患者数 20,514人(前年対比▲656人)</li> </ul> <p>(2)決算見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院事業収益 839,041千円</li> <li>・病院事業費用 913,191千円</li> <li>・当期純利益 ▲74,150千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>前年度繰越欠損金</td> <td>1,130,631千円</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲74,150千円</td> </tr> <tr> <td>当年度未処理欠損金</td> <td>1,204,781千円</td> </tr> </table>			前年度繰越欠損金	1,130,631千円	当期純利益	▲74,150千円	当年度未処理欠損金	1,204,781千円
	前年度繰越欠損金	1,130,631千円							
当期純利益	▲74,150千円								
当年度未処理欠損金	1,204,781千円								
	<p>※その他収支、費用各項目の主な増減要因について説明</p> <p>2. 令和5年度病院事業会計予算案について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span></p> <p>(1)患者数算定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病棟入院患者数 9,500人(前年対比 0人)</li> <li>・介護医療院入所者数 10,650人(前年対比▲300人)</li> <li>・外来患者数 25,200人(前年対比▲600人)</li> </ul>								

(2)病院事業全体の予算

・収益的収支予算(3条) 1,001,917千円(前年当初対比+7,304千円)

収益 医業収益 625,522千円、医業外収益 219,307千円、介護保険施設収益 157,088千円  
費用 医業費用 841,891千円、医業外費用 2,927千円、介護保険施設費用 157,088千円他

・資本的収支予算(4条) 1,045,481千円(前年当初対比+878,739千円)

収入 出資金 20,048千円、補助金 247,733千円、企業債 777,700千円

費用 企業債償還金 10,349千円、建設改良費 1,033,932千円、奨学金貸付 1,200千円

3. 診療科の標榜廃止について 資料3

富良野協会病院の循環器内科医師派遣を受けて、当院で診療業務をおこなっていたが、派遣が休止となり、当院での診療継続が困難となったことから循環器内科を廃止する条例改正を3月議会に提出する。

4. 病院改築整備事業について 資料4

8月9日の契約以降、実施設計、子どもセンター及び旧医師住宅解体、アスベスト除去、地中熱試験など4年度工事が完了している。

○質疑・意見等

・(委員)

内 容

4年度一般病棟の入院単価減を見込む理由と外来受診数の減はコロナの影響によるものなのか。

【事務回答】一般病棟の単価は、検査、処置、処方がかからない入院患者によるものと推察される。外来受診数の減においては3年度以前のような受診控えなどの影響はないものと把握している。

・(委員)

5年度予算案、以前の予算案もそうであったが、決算上収益が当初と対比して大幅に減少している状況の中での収支均衡予算編成に違和感を感じる。

【事務回答】ご指摘のとおり特に医業収益の部分で決算数値と大幅に乖離している事は認識しており、その中での予算案の編成であることをご理解いただきたい。

・(委員)

改築整備事業 39億6千万円と聞いているが5年度予算との整合性はとれているのか。

【事務回答】現在のところ改築整備本体 39億6千万円+地中熱導入工事予算に変更はないが、懸念されている物価高騰による工事費の増加は、今後見込まれる。

・(委員)

常勤内科医師の不在と聞いているが、診療体制の影響は。

【事務回答】昨年8月より常勤医師の不在により、その一部を医大の派遣医師によりカバーをしている状況であり、今後も診療体制に影響がないよう対応していきたい。

以上